



すてぃーる

目次

●「第1回 全国ボウリング大会」開催	1
●各支部で「賛助会員との交流会」を開催	3
●三上聡彦氏が秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章	5
●各支部で各種研修など社員向け行事を開催	5
●平成28年度特殊鋼販売技士2・3級合格者名簿	6
●いま世界へ！ 各社が取り組む海外展開事例—ヤマシスチール株式会社	8
●イタリア特殊鋼関連業界視察研修のご報告	9
●理事会・委員会報告	10
●事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

「第1回 全国ボウリング大会」開催

全特協は10月15日(土)、東京都港区の品川プリンスホテルボウリングセンターで「第1回 全国ボウリング大会」を初開催した。参加チームは全国の各支部から予選を勝ち上がった11チームに事務局チームを加えた全12チーム。本部・支部役員を含めた関係者63名が参加し、ゲーム終了後の表彰式と懇親会を含めて支部の垣根を越えて大いに盛り上がり、福利厚生事業としては全特協初の全国大会は大成功をおさめた。



12チーム36名の出場者のほか本部・支部関係者も含めて63名が参加した第1回全国ボウリング大会

■福利厚生事業としては初の全国大会を開催

全特協では今年度の法人化20周年を機に、昨年発足した中国支部を含めた全国8支部体制で東日本、中日本、西日本の全国3ブロック制を導入。全国組織としての事業運営を活性化するためにブロック単位での活動とともに、全国レベルでのイベントも開催して今後継続していく方針を打ち出した。今回の全国ボウリング大会は、毎年4月1日の「はがねの日」記念行事などで多くの支部で実施されていることから、会員企業の一般社員も含めて参加できる全国大会として企画された。

東京、大阪、名古屋の各支部からは2チームずつ、その他支部からは1チームずつと支部予選を勝ち抜いた11チームに事務局チームの計12チームは別表のとおり。各支部選りすぐりの強豪チームが頂点を目指した熱戦の結果、団体戦(3人・2ゲーム制)で優勝したのは合計1140ピンを獲得した清水特殊鋼(東京)。準優勝はわずか6ピン差の1134ピンで三和特殊鋼(大阪)が続き、3位は1038ピンで伊藤忠丸紅特殊鋼(東京)が食い込んだ。



■団体は清水特殊鋼(東京)が初代チャンピオンに輝き、 個人女子の石野さんがハイゲーム・トータルとも男子を抑えてTOPに

個人戦優勝は男子の部が三和特殊鋼(大阪)の大家雅規さん(416ピン)で、女子の部が清水特殊鋼(東京)の石野奈央子さん(491ピン)となった。東京支部大会女子の部で昨年まで7連覇を達成した石野さんは、今大会では女子に与えられたハンディキャップなしでもトータル451ピン、ハイゲーム267ピンと、男女を通じて他を寄せつけない強さをみせつけた。



左から、大会実行委員長の藤巻経営効率化委員会委員長、男子個人優勝の大家さん、佐久間会長、団体優勝・清水特殊鋼の石野さん、近藤さん、竹中さん

■第1回 全国ボウリング大会 出場チーム

	支部	チーム名		支部	チーム名
1	東京	清水特殊鋼(株)	7	東北	(株)竹内ハガネ商行 仙台(営)
2	〃	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)	8	北関東	小山鋼材(株)
3	大阪	菱光特殊鋼(株)	9	静岡	佐久間特殊鋼(株) 浜松(支)
4	〃	三和特殊鋼(株)	10	中国	井上特殊鋼(株) 広島(営)
5	名古屋	愛鋼(株)	11	九州	三鋼販西日本(株)
6	〃	中島特殊鋼(株)	12	事務局	全特協 事務局

■団体・個人(男子・女子)成績表

2ゲームトータルピン数・3人1組(女性はHDCP20ピン/1G)

団体の部	チーム名	ピン数
優勝	清水特殊鋼(株)	1140
準優勝	三和特殊鋼(株)	1134
3位	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)	1038
4位	菱光特殊鋼(株)	1011
5位	三鋼販西日本(株)	983

個人の部	プレーヤー名	1G	2G	HDCP	トータル
男子 優勝	大家雅規(三和特殊鋼)	200	216	-	416
〃 準優勝	高山文三(三和特殊鋼)	208	168	-	376
〃 3位	釜崎薫(菱光特殊鋼)	181	187	-	368
女子 優勝	石野奈央子(清水特殊鋼)	267	184	40	491
〃 準優勝	江田広美(三鋼販西日本)	138	133	40	311
〃 3位	加茂京子(竹内ハガネ商行・仙台)	113	88	40	241

■業界ネットワーク構築にも役立つ、懇親の場

ゲーム終了後の表彰式と懇親会では大会会長の佐久間貞介・全特協会長(佐久間特殊鋼・代表取締役)が「これまで全国レベルで実施する協会事業は特殊鋼販売技士講座や海外研修など“勉強の場”が中心だったが、福利厚生事業で初めての全国大会を開催することで、全国の会員企業の方々が広く知り合える場をつくることができた。皆さんで業界を盛り上げていき、仕事上のネットワークづくりにも役立ててほしい」などとあいさつ。福原実晴・全特協副会長(南海鋼材・代表取締役)は、「いつもハイレベルな大阪支部予選を勝ち上がったチームが優勝するかもと期待していたが残念。来年の全国大会は大阪開催の予定なのでリベンジしたい。本日出場された皆さんも、来年は大阪に来られるよう1年間精進してください」などと述べ乾杯の発声を行った。

北は仙台、南は福岡から出場した各チームが、ゲームの熱気もそのままに活気あふれる懇談の中締めは、碓井達郎・東京支部長が「休日にもかかわらず全国から参加いただいたおかげで盛大に終えることができました。今後とも、全特協の行事にご理解とご協力をいただき参加をお願いします。来年また大阪でお会いしましょう」とあいさつして散会した。



来年の全国大会は大阪での開催を予告し、地元チームのリベンジを誓う福原副会長(左)と他の協会事業へも積極参加を呼びかける碓井東京支部長(右)



表彰式・懇親会では、熱戦の余韻そのままに活気あふれる懇談が行われた

各支部で 「賛助会員との交流会」を開催

正会員とともに賛助会員によって構成されている全特協では、その事業運営に賛助会員様の皆様のご賛同とご協力が欠かすことができない。そんな賛助会員なくしては成り立たない当協会であるからこそ、正会員と賛助会員の交流促進と相互理解を深めることを目的に、各支部で毎年1回「賛助会員との交流会」を実施している。支部ごとの重点事業である本交流会が、今年度も東京・大阪・名古屋の各支部で、講演会などをメイン企画として開催され、正会員・賛助会員の各社による懇親と活発な情報交換が行われた。

■東京支部

開催日時：平成28年7月21日(木) 開催場所：海運クラブ(東京都千代田区平河町)

流通およびメーカー各社から約100名が出席。交流会に先立つ講演会では、元住友金属工業籠球団に所属したバスケットボール選手で、日本代表チームでも活躍された岡山恭崇氏を招き、『スポーツと私』というテーマでご講演いただいた。岡山氏は、大商大から実業団チーム、8年間在席した日本代表時代を通じた競技歴のエピソードを披露。1990年代のバブル崩壊後、多くの実業団チームが休廃部となり、近年はプロリーグ化が進むバスケットボールをはじめとしたスポーツ界の現状を憂い、「働きながら競技できる」アマチュアリズムの素晴らしさを提言し、「企業スポーツの復活へも提言、力を尽くしていければ」とアピール。現役引退後の競技指導やバスケットボール普及活動を通じて、「練習のための練習になっていないか目的意識をもつこと」「チーム内で仲良く横並びにならず自己主張をもつことが大切」など、ビジネスの現場においても参考となる意見を述べられた。

講演会の後には懇親会を開催し、冒頭に碓井達郎支部長(碓井鋼材・代表取締役)のあいさつの後、賛助会員を代表して登壇された富永真市理事(山陽特殊製鋼・専務取締役)が乾杯のご発声を行い、活気あふれる懇談が行われた。



あいさつする碓井東京支部長



講演する岡山恭崇氏



スポーツからビジネス・チーム論まで得ることの多い講演会だった



富永理事による乾杯発声

ご来賓：富永真市理事あいさつ



「バスケットボール界伝説のプレーヤーであるとともに、薄板自動車鋼板の分野でも伝説の営業マンである岡山恭崇さんの人間味あふれるお話を聞き、深く感激した」と講演会について触れ、今期からスタートしたブロック制に触れながら「今年後半また下期に向け、会員各位、支部そして東日本ブロックも益々繁栄することを祈念する」と乾杯の発声が行われた。

碓井達郎支部長あいさつ



全特協法人化20周年の今期よりスタートした全国ブロック制についてアナウンスした後、「東京支部を含めた東日本ブロックでは、秋のゴルフ大会のほか来年2月ごろには海外視察も検討しているほか、ブロック内の他支部とコラボレーションしながら事業を行うなど活発な事業展開を目指している。さらに大勢の皆様にご参加いただきたい」と呼びかけた。

■大阪支部

開催日時：平成28年11月16日(水) 開催場所：ヒルトン大阪(大阪市北区梅田)

流通およびメーカー各社から56名が出席。第1部では、水産業を営む(株)GHILB社長の坪内知佳氏を招き、『この場所で咲かせる“人生の花”への道のり』と題した講演会を行った。坪内氏は未経験ながら漁業の世界に飛び込み、山口県萩市で2012年に約60名の漁師を束ねた萩大島船団丸を設立。同年には農林水産省に六次産業化(第1次産業に第2次の加工、第3次の販売を融合させること)を申請し、全国の料理店などに自家出荷を開始した。水産業の新たな可能性を探りながら船団を“家業から企業”に脱皮させた坪内氏のアイデアと行動力に、参加者は熱心に聞き入っていた。

第2部では懇親会を開催し、あいさつに立った久木田至支部長(櫻井鋼鉄・代表取締役社長)は、「講演で坪内知佳氏がお話しされた、『よいモノは売れる』という点は特殊鋼の業界にもあてはまること。われわれも自信とプライドをもって経営に携わっていかねばいけない」と述べた。乾杯発声は、賛助会員を代表して大前浩三・特殊鋼倶楽部大阪支部長(山陽特殊製鋼・取締役大阪支店長)が行い、活気あふれる懇談の後、福原実晴・全特協副会長(南海鋼材・代表取締役)の中締めで散会した。



坪内知佳氏



あいさつする久木田支部長



大前浩三様による乾杯の発声



福原副会長による中締め

■名古屋支部

開催日時：平成28年9月7日(水) 開催場所：東京第一ホテル錦(名古屋市中区錦)

正会員・賛助会員各社より60名参加のもと、第一部では名古屋城総合事務所学芸員の近藤将人氏をお招きして、「名古屋城の歴史と本丸御殿復元の価値・魅力」と題した講演会を開催。近藤学芸員から名古屋城は、明治時代に陸軍本部が置かれていたことなどの歴史紹介から現在復元中の本丸御殿の説明を受け、参加者は名古屋のシンボルに関する動向を熱心に聴講した。

事業報告会となった第二部では、樋巳芳支部長(辰巳屋興業・代表取締役)から「特殊鋼業界は足元の商売は冴えない上、先行き不透明感も強く厳しい状態だ。安定している向け先もあるが、今後、販売が増加傾向になるとは言いがたい。それでも『名古屋は元気だ』と言われるようがんばろう」と呼びかけた。

第三部の懇親会は、利光一浩・特殊鋼倶楽部名古屋支部長(大同特殊鋼・名古屋営業部長)があいさつと乾杯発声を行い、和気あいあいとした懇親の後、熊谷多津旺・運営委員(クマガイ特殊鋼会長)の中締めで散会となった。



あいさつする樋巳支部長



名古屋城総合事務所・近藤学芸員による名古屋城の昔と今を知る講演会

協会会長などを歴任された三上聰彦氏が 秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章

経済産業省が主催する2016年秋の叙勲伝達式が、11月9日(水)品川グランドプリンホテル新高輪で開催され、ノボル鋼鉄(株)の三上聰彦社長が夫妻で晴れの式典に臨んだ。

旭日小綬章を受章した三上氏は、3期6年にわたり全日本特殊鋼流通協会会長及び特殊鋼倶楽部副会長を務められた。会長及び副会長就任当時は、バブル崩壊により厳しい状況下に置かれていた時代で、同氏は業界初の将来ビジョンを作成した功績、業界のイメージアップへの貢献、また特殊鋼倶楽部の流通委員会委員長として独禁法の理解を深める活動に積極的に尽力される等の功績を称えられた。

全特協推薦の勲章受章者は、一昨年副会長を務めた樋口克彦氏に次いで3人目。ノボル鋼鉄(株)としては、故三上登氏(特殊鋼倶楽部の推薦により受章)に次ぐ受章となり、2代にわたっての勲章受章となった。



受章者147名が臨席した経済産業省推薦団体による平成28年春の叙勲伝達式



各支部で各種研修など社員向け行事を開催

■大阪支部 「社員交流・活性化大会」

開催日時：平成28年10月26日(水) 開催場所：ホテル日航大阪32Fスカイテラス

恒例の「社員交流・活性化大会」が、歌手の嘉門達夫氏を迎えての「ディナー&嘉門達夫さんスペシャルライブ」として行われ、過去最高の149人が参加した。

食事を取りながらの豪華賞品が当たる抽選会の後、お待ちかねの嘉門達夫氏のライブ。「アホが見るブタのケツ」や「鼻から牛乳」、最新のネタを取り入れた替え歌など、期待通りに参加者を大いに沸かせた。大会の目的である、他社社員との交流もあちらこちらで見られ、参加者は余韻に浸りながら、楽しそうに家路についた。



■名古屋支部 「中堅社員研修講座」

開催日時：平成28年10月19日(水) 開催場所：愛知県産業労働センター・WINあいち(名古屋市中村区)

恒例の中堅社員研修講座に、今年は32名が参加。今年も、名南経営コンサルティングの山田亮太氏を講師に招き、「中堅社員に求められるリーダーシップ力と交渉力(ネゴシエーション)の基礎」をテーマに開催した。研修では5～6人の小グループに分かれ、リーダーシップに関する講義を受けた後、グループ討議やチャレンジシートを作成し、今後どのようなことに取組むかを決意表明をした。研修は当日限りでなく、来年2月22日にフォローアップ研修が予定されている。



九州支部 「施設見学会」

開催日時：平成28年9月7日(水)

例年どおり、九州ステンレス流通協会との共催事業として「第23回合同社員研修会」を開催、今年は総勢33名が参加。北九州市を代表とする2つの企業ミュージアムと、昨年世界文化遺産に登録された施設を見学した。九州ステンレス流通協会からは田中健二事務局長、全特協からはケイ.エス.スチールの濱下武社長のあいさつがあった。

午前中、TOTOミュージアムで同社及び衛生陶器の歴史に触れ、午後からは安川電機みらい館でロボットのアトラクションやロボットがロボットを生産するライン、半導体工場や医療現場で使われるクリーンロボットの生産ラインを見学した。

その後、世界遺産に登録された官営八幡製鐵所旧本社事務所の展望スペースに立ち寄り、日本の鉄の歴史を学んだ。参加者からは、普段見ることが無い施設を見学でき大変勉強になったとの感想も上がり有意義な見学会となった。



平成28年度特殊鋼販売技士2・3級合格者名簿

平成28年度 特殊鋼販売技士2級合格者名簿

特殊鋼販売技士2級講座は次の各支部で開催し、平成28年10月19日(水)検定試験を実施いたしました。
講師各位の採点結果にもとづき平成28年11月8日(火)特殊鋼販売技士検定試験委員会で合否判定を行い下記の合格者数が決まりました。

支部	受験者数	合格者数
東京	57	42
大阪	61	46
名古屋	54	42
北関東	14	7
静岡	21	18
合計	207	155

成績優良者 合計7名

- [東京支部] 黒瀬 涼平 佐藤商事(株)
- [大阪支部] 高橋 潤一 大洋商事(株)
- [名古屋支部] 大橋 寛幸 愛鋼(株)
- 久米井亮一 ウメトク(株)
- 芝 輝 佐久間特殊鋼(株)
- 合田満理奈 若杉鋼材(株)
- 太田 誠 宮崎精鋼(株)

東京支部

- 初鹿野綾子 浅井産業(株)
- 武藤 幸二 東金属(株)
- 松尾 嘉大 栗井鋼商事(株)
- 鹿熊 崇史 伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
- 廣瀬 真里名
- 山口 剛 インターナショナルアロイ(株)
- 森 敦史 岡谷鋼機(株)
- 黒瀬 涼平 佐藤商事(株)
- 兵頭 京
- 山川 悟史
- 岡崎 均 山陽特殊製鋼(株)
- 神屋 めぐみ
- 竹重 康宏
- 見越 千絵
- 島津 幹也 J F E 商事(株)
- 真橋 哲也
- 南 翔斗
- 高橋 利行 芝本産業(株)

- 清水 優悟 清水金属(株)
- 廣田 和剛 下村特殊精工(株)
- 山野 恵理 住商特殊鋼(株)
- 川崎 修一 第一熱処理工業(株)
- 金原 薫
- 安藤 裕司 大同特殊鋼(株)
- 尾崎 雄也
- 倉知 然輔
- 鈴木 雅弘
- 柚木 尚希
- 西山 大裕
- 三上 貴之
- 白金 敏弘
- 間部裕太郎 山崎宏之
- 山崎 純一
- 松本 古川 誠
- 荒川 大樹
- 阪田 尚也
- 藤井 基行
- 村山 実
- 内山 由暁
- 壇上 侑生
- 渡邊 通王

大阪支部

- 嶋 直紀 栗井鋼商事(株)
- 嶋崎 哲也 ウメトク(株)
- 坂口 真悟 近江鍛工(株)
- 田川 亮太 大阪精工(株)
- 前出 直大 加藤鋼材(株)
- 松本 将範 カネヒラ鉄鋼(株)
- 牧野光太郎 合同製鐵(株)
- 小川 俊彦 (株) 菰下鋸断
- 寺村 大樹 櫻井鋼機(株)
- 大嶋 優介 佐藤商事(株)
- 植田 有己 三利特殊鋼(株)
- 片岡 雄一 三和特殊鋼(株)
- 中西 祐樹 J F E 商事(株)
- 井上 翔太
- 小西 直人 新関西製鐵(株)
- 向園 孝志 (株) 西鋼
- 村山 雅志
- 浅田 充宏
- 山田 那須 仁
- 那須 潤一
- 高橋 幹也 大津樹
- 井上 和久
- 服部 友宏
- 白政 智裕 (株) テクノフロント

- 阿部 翔 (株) 天彦産業
- 貴山 裕之
- 西山 裕樹 (株) 東洋金属熱錬工業所
- 米澤 幸男 日清鋼業(株)
- 石井 敏也 日本金属(株)
- 伊藤 禎 日本高周波鋼業(株)
- 窪田 徳明 日本スチール(株)
- 高梨 拓哉 白鷺特殊鋼(株)
- 五十嵐 巧
- 中道 潤也 林田特殊鋼材(株)
- 杉山 柚香
- 清水 彩 (株) バルテック
- 水坂 良太
- 山坂 圭
- 山口 薫寿志 (株) 阪神メタリックス
- 栗脇 海斗
- 朱 洋祐
- 川端 俊介 日立金属(株)
- 富岡 和人 山進産業(株)
- 細見 茂幸
- 田中 路奇

名古屋支部

- 大橋 寛幸 愛鋼(株)
- 藤木 一馬
- 堤 亮太 浅井産業(株)
- 吉野 優佑
- 浅野 彰太 浅野鋼材(株)
- 久米井亮一 ウメトク(株)
- 鈴木 和成
- 山口 俊文
- 花井 裕樹
- 下山 法子 川本鋼材(株)
- 林 陽介 クマガイ特殊鋼(株)
- 江上 宜輝 (株) グリーンスチール(株)
- 大平 慶太 (株) 交邦磨棒センター
- 小島 健太 佐久間特殊鋼(株)
- 芝 輝
- 安田 学央
- 喜多 大輔 (株) 三悦
- 杉浦 良介 鈴秀工業(株)
- 長嶺 睦太
- 宮島 利幸
- 伊藤 秀亮 大同興業(株)
- 大柳 智紀 大同特殊鋼(株)
- 橋場 実花 孟鋼鉄(株)
- 奥田 富士道香子

- 浦川 潔 東北特殊鋼(株)
- 山内 一憲
- 相羽 桂輔 中島特殊鋼(株)
- 桂木 哲平
- 加藤 竜之介
- 松井 輝
- 水谷 一登 中野ハガネ(株)
- 伊藤 祐希 名古屋特殊鋼(株)
- 間宮 彰規
- 野宮 一平
- 伊藤 舞 (株) ハヤカワカンパニー
- 太田 誠
- 平松 輝隆 宮崎精鋼(株)
- 六車 英高 (株) 山一ハガネ
- 合田満理奈 若杉鋼材(株)

北関東支部

- 堀口 晴樹 (株) カムス
- 山田 幸治
- 深海 聡 清水特殊鋼(株)
- 斉藤 卓 (株) 竹内ハガネ商行
- 富岡 慎介 (株) 長谷川ハガネ店
- 東原 毅宣 (株) マクスコーボレーション
- 加藤 俊貴

九州支部

- 釜本 達哉 栗井鋼商事株式会社
- 佐藤 健一
- 池田 直樹 井上特殊鋼株式会社
- 工藤 裕也
- 澄川 佑介
- 宮田 恵祐
- 富川 猛
- 西海 尚人
- 古岡 良太
- 石原 誠
- 野添 康太
- 城島 弘幸 扇鋼材株式会社
- 今富 陽一 株式会社ケイ.エス.スチール
- 脇本 一輝 佐藤商事株式会社
- 高垣 賢司
- 大坪 督胤 シバタ精機株式会社
- 角田圭一郎
- 新谷 啓司 特殊鋼機株式会社

■平成28年度 特殊鋼販売技士3級合格者名簿

特殊鋼販売技士3級講座は次の各支部で開講し、平成28年7月6日(木)検定試験を実施いたしました。

講師各位の採点結果にもとづき平成28年7月20日(水)特殊鋼販売技士検定試験委員会で可否判定を行い下記の合格者数が決まりました。

支 部	受験者数	合格者数
東 京	106	99
大 阪	109	93
名古屋	101	90
東 北	16	14
北関東	13	9
静 岡	12	12
九 州	2	0
合 計	359	317

成績優良者

合計11名

- [東京支部] 進藤 有希 兼松(株)
- 高木 和真 芝本産業(株)
- [大阪支部] 別所 純 日本高周波鋼業(株)
- [名古屋支部] 久野 峰稔 愛知製鋼(株)
- 水谷真由美 (株)F&Cホールディングス
- 牧 省吾 (株)司鋼商会
- 前川 雄哉 (株)大同分析リサーチ
- [東北支部] 澤藤 東志紀 ノボル鋼鉄(株)
- 丹野 智瑛
- 佐藤 孝徳 (株)田中ボルト製作所
- 三澤 利一

東京支部	
綿本 勝	青山特殊鋼(株)
星野 良輔	〃
松田 拓晃	〃
遠藤 佑起	〃
関根 雅彦	秋山精鋼(株)
谷川 晶洋	〃
湯本 拓也	浅井産業(株)
柏木 かなな	〃
藤原 将祐	〃
久田 拓夫	アズマックス(株)
鍋田 幸宏	粟井鋼商事(株)
増田 拓也	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
金川 勇也	〃
中井 康貴	井上特殊鋼(株)
久保 美理	〃
米澤 美和	〃
高橋 沙織	〃
山口 剛	インターナショナルアロイ(株)
小口 亮太	(株)U E X
鍋谷 健太	〃
今野 直史	碓井鋼材(株)
地曳 直也	〃
小杉 昌也	〃
山田 佳明	エスメタル(株)
井上 創	〃
小林 信夫	王子製鉄(株)
柿沼 秀俊	〃
木藤 裕美子	岡谷鋼機(株)
内田 剛美	加藤鋼材(株)
進藤 有希	兼松(株)
木村 友哉	〃
草山 祥子	草山鋼(株)
石川 雅巳	久野産業(株)
田村 光代	〃
中橋 美沙	(株)神戸製鋼所
矢澤 佑介	〃
藤原 まい	〃
小田 正周	佐藤商事(株)
不藤 絢也	〃
潘 喜華	〃
横手 元氣	〃
奥田 拓哉	〃
杉山 泰祐	山陽特殊製鋼(株)
宮脇 侑也	〃
尾上 美帆	〃
宮澤 俊希	J F E 商事(株)
平塚 拓也	〃
谷口 大介	〃
杉本 貴裕	芝本産業(株)
久保田 和真	〃
高木 聖一	第一鋼業(株)
杉山 亜耶	第一熱処理工業(株)

金子真由美	〃
東 仲蒞	〃
大塚 茉莉	〃
久保田樹紀	大同興業(株)
齊藤美紀	〃
杉本晃一	〃
宮嶋 華子	〃
江頭 裕人	大同特殊鋼(株)
向 順規	〃
谷本 成志	〃
立野 元識	大洋商事(株)
間宮 千智	〃
鎌木 卓	〃
杉本 正典	東海鋼鉄(株)
山本 隆雄	〃
吉村 智行	中川特殊鋼(株)
大藪 裕未	〃
鹿野谷 翔子	〃
石黒 敬	〃
石津 輝男	〃
上林 紀子	日本金属(株)
長濱由紀子	〃
義貴 貴典	野村鋼機(株)
宮本 典明	(株)濱田屋商店
濱田 隆作	(株)ハヤカフカンパニー
小川 覚廣	阪和興業(株)
小嶋 昂平	〃
藤嶋 諒平	〃
小松 諒平	〃
神山 正吾	〃
森平 昌人	〃
勝泉 貴	藤田商事(株)
池光 祥子	(株)ブルータス
加藤 知佳	〃
田中 亮也	三井物産スチール(株)
中尾 達也	〃
藤澤 隆	〃
冒 勝彦	〃
古田 花菜子	〃
木村 太郎	三菱製鋼(株)
竹村 理玲	〃
福澤 貴士	(株)メタルワン特殊鋼
織田 大輔	八千代特殊金属(株)
丸山 太郎	〃
戸田 裕次	〃
武安	〃

大阪支部	
川上 雅也	秋山精鋼(株)
岡本 真弥	粟井鋼商事(株)
高橋 大基	〃
清水 駿	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
薄川 大地	〃
片笠原 徹	井上特殊鋼(株)
片倉 進太郎	〃
山内進太郎	植田興業(株)
鈴木 雅人	(株)U E X
鈴川 高範	ウメトク(株)
萩原 龍也	〃
新也 新也	〃
門塚 良汰	〃
辻野 勇太	〃
長田 雄貴	〃
山田 泰輔	〃
和田 浩杜	扇鋼材(株)
齊賀 浩志	大阪精工(株)
西岡 千恵	〃
小田 響己	大阪ミガキ(株)
野村 章宏	関西鉄工(株)
岡本 慶太	京都磨鋼材(株)
西木 昌俊	合同製鐵(株)
中上 紗矢	(株)神戸製鋼所
山口 太一	〃
福田 勝輝	(株)菰下鋸断
土生 圭亮	〃
佐藤 小竹弘	〃
小竹 一朗	〃
北原 英貴	〃
西條 芳哉	小山鋼材(株)
榎 榎弥	櫻井鋼鉄(株)
藤原 隼佑	佐藤商事(株)
金谷 勇気	〃
渡部 神吉	〃
神吉 昌徳	〃
松本 一瀬	サントク精研(株)
一瀬 俊輔	三和特殊鋼(株)
那木 愛	〃
櫻原 晃輝	〃
上村 尚弥	〃
佐藤 高橋	芝本産業(株)
高橋 亮佑	神鋼商事(株)
富永 潮	大東精機(株)
阪口 啓充	〃
下井	〃

小川 典之	〃
佐野 孔喜	〃
中嶋 隆洋	〃
原 駿平	〃
井澤 昌史	大同特殊鋼(株)
吉澤 陽平	〃
久保 拓	〃
田中 祐	〃
権津川 基太郎	大博鋼業(株)
戸塚 遼平	大洋商事(株)
田中 雅花	〃
池田 和之	〃
喜多 正典	〃
喜岡 正典	〃
池田 和永	辰巳屋興業(株)
吉田 太郎	(株)天彦産業
小林 千愛	〃
永山 千尋	〃
榊原 隆介	東福鍛工(株)
友野 文雄	(株)東洋金属熱錬工業所
日清 尚之	中川特殊鋼(株)
横田 允昌	南海鋼材(株)
加納 卓児	南海シャフト(株)
加納 博宗	〃
竹下 孝之	日清鋼業(株)
内海 純	日本高周波鋼業(株)
別所 剛輝	日本スチール(株)
中村 貴剛	〃
藤澤 繁	白鷺特殊鋼(株)
高谷 優志	〃
中尾 瞬	(株)ハクロフォーゼン
増田 義健	(株)バンフィックソーワ
塩野 崇	〃
黒沢 拓哉	(株)不二越
山本 健太郎	(株)堀田ハガネ
友田 安田	成美
安田 翔太	阪和興業(株)
小山 一馬	松井鋼材(株)
坂本 基	(株)ミヤジマ
石田 陽一	モリテックススチール(株)
川内 基裕	山本鋼材(株)
川内 克彦	山本鋼材(株)
山本 室屋	陽鋼物産(株)
安中 俊介	〃
阪中 永良	豫洲短板産業(株)
山田 真意	〃
榊屋 智美	〃

名古屋支部	
竹下 正人	愛知製鋼(株)
葛巻 達也	〃
鈴木沙也加	〃
石泊佳那美	〃
久野 峰稔	〃
林田隆一郎	愛鋼(株)
古川 貴大	浅井産業(株)
村上 裕一	〃
広瀬 裕大	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
青木 衛樹	〃
樋浦 佑樹	(株)伊藤ハガネ
柳澤 正功	〃
小川 功	井上特殊鋼(株)
溝脇 彩乃	ウメトク(株)
石田 誠	〃
永留 脩平	(株)F&Cホールディングス
水谷真由美	大阪ミガキ(株)
宗紀 紘平	岡谷薄板販売(株)
外村 紘平	〃
荻村 宗利	〃
近藤 翔	〃
竹内 千史	岡谷鋼機(株)
長岡 瞬	(株)加藤一鋼材
佐久間 祥太	川本鋼材(株)
安井 豊大	〃
桑下 豊斗	〃
竹田 正明	(株)交邦磨棒鋼センター
桑 栄次郎	〃
清水 郁	〃
金田 貴恵	〃
立田 佳史	虹技(株)
水谷 由美	佐久間特殊鋼(株)
水越 健文	〃
細田 歩	〃
BUI THI THUY	〃
千塚未沙希	〃
酒井祐美子	〃
桐山 佳大	〃
片山 泰弘	〃
大島 麻維	〃
植野 裕太	〃
石黒百合恵	〃

福田 耕志	サハシ特殊鋼(株)
大藤 藍	佐藤商事(株)
加藤 詩織	(株)三悦
将太 典子	杉本ハガネ(株)
若林 貴則	鈴豊精鋼(株)
北田 勝悟	〃
小野内 克成	鈴秀工業(株)
佐野 潤	〃
山田 淳也	(株)大同キャストイングス
吉川 昂	大同興業(株)
紺野 優稀	〃
金光 哲央	〃
奥田 直樹	〃
井上 恒平	〃
青柳 将大	大同特殊鋼(株)
原田 千愛	〃
南 夢子	〃
斧田 貴志	〃
山城 雄哉	(株)大同分析リサーチ
前川 佳世	(株)タカギスチール
野村 由実	〃
杉野 明香	孟鋼鉄(株)
水嶋 望未	〃
松井 明香	〃
大塚 網基	〃
伊藤 桃子	〃
北村 元哉	辰巳屋興業(株)
熊澤 省吾	(株)司鋼商会
牧 孝郎	〃
山本 雄平	東洋精鋼(株)
原田 河島	豊田通商(株)
河島 淳太郎	〃
中山 直樹	中島特殊鋼(株)
山本 智	〃
腰替 雄二	〃
坂野 卓弥	名古屋特殊鋼(株)
杉山 辰徳	南海鋼材(株)
伊藤 真緒	(株)平井
浦川 京美	(株)メタルワン特殊鋼
川内 圭	〃
藤本 圭亮	モリテックススチール(株)
岡本 達也	〃
森井 大貴	(株)山一ハガネ
牛田 輝	〃
小林 祐太	〃
浅田 恭太	〃
辻口 宗平	〃

東北支部	
阿部 雄也	佐藤商事(株)
富樫 雅之	(株)佐藤忠蔵商店
佐々木雄介	三和製鋼(株)
田中 紘平	(株)田中ボルト製作所
三澤 利一	〃
田中 竜太	東北特殊鋼(株)
木下 一志	〃
二階堂 淳	東特興業(株)
澤藤 志紀	ノボル鋼鉄(株)
丹野 智瑛	〃
佐藤 孝徳	〃
本郷 貴之	ボーラーウッデホルム(株)
蝦名 信一	(株)メタルプレート
菊池 裕弥	〃

北関東支部	
田島 正博	青山特殊鋼(株)
安藤 逸人	井上特殊鋼(株)
岸野 貴志	小山鋼材(株)
鯉淵 祐太	〃
大槻 恵輔	(株)カムス
斉藤 友紀	興新特殊鋼(株)
坪内 直人	佐久間特殊鋼(株)
飯島 凌也	〃
根本 太郎	清水特殊鋼(株)

静岡支部	
平野 雅和	青山特殊鋼(株)
三澤 卓巳	〃
石井 雄一	〃
桐原 貴之	〃
榊原 健太	井上特殊鋼(株)
徳永 一実	〃
井川 慎介	佐久間特殊鋼(株)
町永 光	〃
高砂 直人	ノボル鋼鉄(株)
井出 学	〃
緒方 智一	〃
杉岡 尚人	(株)平井

[シリーズ連載] 第11回 ヤマシンスチール株式会社 いま世界へ！各社が取り組む海外展開事例

国内の消費不振に加えて輸入鋼材の調達が一般化するなど、特殊鋼の国内需要が頭打ちとなる中、ここ数年来の為替変動リスクにも対応するため、自動車部品を中心としたメーカー各社の海外生産シフトが続いている。そうした背景から、総合商社だけにとどまらず特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず、海外に拠点展開することが顕著になっている。シリーズ第11回は、国内ステンレス磨棒鋼メーカーとしては初めて中国進出したヤマシンスチールの山内貴司専務に、成熟する中国市場での事業の変遷についてうかがってみた。



山内貴司専務取締役

進出当初の「製造の国」から「消費の国」に変わった中国 現地ローカル向けに再編した製造と販売の体制

■2003年に上海に、15年からは常州に 工場を移転し、現地生産を

昭和46年の創業時より、米国へファスナー製品(ボルト・ナット類)輸出業務の歴史をもつ山進グループが、中国に子会社を設立し現地生産を開始したのは2003年の「上海ヤマシンスチール」から。上海の輸出加工区に工場を建設し、東南アジア、韓国、米国をはじめ、その他、現地日系企業に精密機械向け部品材料の生産と販売を行い、2005年ごろには月産400トン前後の生産を行っていた。

「当時はちょうど中国バブルで上海進出の気運が盛んなとき。米国の対日AD措置の流れのなかで、輸出案件が減少し、労働コストが安価な中国を採算拠点に、アジアを中心とした輸出を盛り返そうというのが目的だった」と山内専務は振り返る。

しかし、その後10年間の中国国内の市場変化を考慮して、現地生産のあり方に転換の必要性を感じてきたという。それは、「製造の国」から「消費の国」へと転換し、マーケットが確立しはじめたためである。2003年の進出当初は、上海を製造拠点に日本から材料を供給し、韓国をはじめとするアジア諸国への輸出がメインであったが、中国市場の急成長でローカル企業への販売も徐々に増えていった。

「上海ヤマシンスチールが立地していた輸出加工区は税金優遇の、いわゆる特区。ローカル向け販売には関税も中国の消費税である増値税もかかり、取引通貨が元であることも多くなってきた。そこ

で、ローカルの生産工場として転換するために2015年4月に江蘇省常州市金壇に『山進特殊鋼』を設立しました」

■現地市場変化に対応しながら生産と販売のシステムを再編

輸出加工区の工場は閉鎖し、現地法人を設立・稼働させることで、それまでの輸出業中心からローカル販売を意識したビジネスモデルに再編をはかった。2013年11月には現地商社である「上海山進金属貿易」を設立していたので、これを輸出入と販売のハブとして日本の恵那工場や第三国の材料を仕入れ、中国で生産した製品を中国国内のほか、日本、韓国、東南アジア諸国、米国などへと販売するシステムになっている。2015年9月に稼働を開始した現地法人・山進特殊鋼は、OA機器向け精密部品用部材をメインに現在、月産150トン規模で推移。現在の中国市場には、自動車関連や半導体向け製品の製造と国内販売を目的に、欧米競合先の進出も著しく、現在山進特殊鋼もその競合先と競争をしながら、中国国内での更なる拡販に努めているところである。

「現在、日本の恵那工場も生産の三分の一程度が、より高付加価値な製品である半導体関連に変わってきています。自動車も今後、映像機器やセンサーが搭載される自動運転システムの普及で半導体制御が増えるはず」と変化する市場を機敏にのみながら対応している。

■品質保証に注力しながら商社と製造を併せもった機動力で勝負

稼働から1年経過したところで苦心しているのは、品質管理や保証の分野。

「上海ヤマシンスチールから常州市金壇の新工場に移ったのは、工場長を含めて3名で、あとは新規で採用したローカルスタッフ。製造そのものは習得も早く申し分ないのですが、成分チェックや保証書の作成など品質管理の教育にまだ少し課題が残る」と山内専務。技術・品質の保証システムを確保していくためには現在、恵那工場がメールや電話で対応しながらアシストしているが、引き続き山内専務と恵那工場の工場長が現地に出向き、OJTでスタッフのさらなる教育に努めている。

今後の展望としては、欧米メーカーの半導体関連部材に注力していくとともに、「当社のスタイルである商社機能と製造機能を併せもつ、多品種・小ロット、短納期など、小回りのきく営業スタイルで、顧客の多様なニーズに対応していく『ステンレス鋼材のコーディネーター』としての役割を中国国内でも打ち出していきたい」とする。



2015年9月に始動した山進特殊鋼・外観

平成28年度イタリア特殊鋼関連業界 視察研修のご報告

全特協では、特殊鋼流通業界の健全な発展を図るための一環として、これまで米国・欧州・台湾・韓国・タイ・中国・インドネシア・ベトナム・マレーシアなどへ視察研修を行ってきました。その目的は、海外の特殊鋼流通・加工業の実態調査と現地業界関係者と意見交換・交流の中で、「海外への視野を広めること」「海外展開への可能性を検討すること」「我が国との業界における相違を知ること」などです。

本年度は、南欧のイタリア最大手の特殊鋼サービスセンターとその関連の自動車部品加工会社を視察し、そして超高級スーパーカーの工場を見学しました。これにより、海外への視野を広め、会社や業界の発展に繋がるヒントや糸口を見つけていただくことを目的としました。また、歴史とロマンを感じるローマやベネチアなどを視察し見聞を広め、参加者同士の交流も地域を越えて深めていただきました。

【視察研修の概要】

開催日時：平成28年9月17日(土)～9月24日(土)

参加者数：21名

主な視察行程：

- ・9/17 成田・関西の各国際空港→フランクフルト→ローマ
- ・9/18 世界遺産ローマ市内観光
- ・9/19 ベネチア着→市内観光（ドゥカーレ宮殿、サンマルコ寺院など）
- ・9/20 ボローニャ着→バガニー見学→ミラノへ
- ・9/21 トリノにてMA Chivasso Plant とAMCLN Caselette Plant を見学
- ・9/22 ミラノ観光（世界遺産ドウオモ、スフォルツェスコ城など）
- ・9/23 ローマ→フランクフルト→帰国の途へ
- ・9/24 成田・関空着



ローマのコロッセオ(9/18)

Pagani Automobili

車体はほぼフルカーボン製で、少量生産メーカーを生かしてユーザーのオリジナルカーを提供している。価格は1台2億円以上で年間25台ほど生産、納車は2年待ち。エンジンはメルセデス・ベンツ製を搭載している。

ハイパーカーが陳列されているショールームは圧巻で、間近で見られたという事が大変価値ある体験となった。



MA Chivasso Plant

1948年創業と古く歴史のある会社で、グループ規模としても従業員7200人以上の企業。イタリアNO.1のプレスメーカーで、ダイムラーやBMWにスタンパーとして販売している。

特に印象的だったのは「ロールフォーミングの全自動化」の実現。材料投入から保管まで、殆ど無人で行っている。常に小改善を繰り返しているとのことであった。



AMCLN Caselette Plant

鋼材加工物流部門の取扱量は年間約110万トンに及ぶイタリアNo.1の鋼材サービスセンター。鋼材在庫量は常時4万トン。1ロール数トンから数十トンになり、緩い斜めになった置台に、コイル材が倒れない工夫が施されていた。コイル材は肉厚0.5m/mから10m/mまでで最大幅2,000m/mまで数本のスリッター加工が可能で、最近ではアフリカ製のコイル材も入ってきており低価格競争になってきているとのこと。



理事会・委員会報告

■理事会

○第8回理事会

日時：平成28年11月4日 16:00～17:00 於：鉄鋼会館
第1号議案 平成28年度の上期事業報告と同年度の収支決算について
第2号議案 第5回定時総会の開催について
第3号議案 工場見学付き新入社員研修の共同開催の実施について
第4号議案 映画協賛への広告費の募集について
第5号議案 役員の交代について

報告事項：①委員会報告 各委員長から活動状況についての報告
②情報提供

- ・取引適正化に関するアンケート調査について
- ・新規大学卒業予定者等の就職・採用活動開始時期について
- ・平成28年秋の叙勲受章者について
- ・障害者差別解消法に係る再周知要請等について

■連絡会

○経済産業省との連絡会

日時：平成28年11月4日 13:30～14:30 於：鉄鋼会館
内容：①第3四半期の特殊鋼需給見通しについて
②最近の特殊鋼流通業における景気状況や業況等について

■運営委員会

○第14回運営委員会

日時：平成28年11月4日 14:30～16:00 於：鉄鋼会館
内容：①平成28年度の上期事業報告と同年度の収支決算について
②第5回定時総会の開催について
③工場見学付き新入社員研修の共同開催の実施について
④映画協賛への広告費の募集について
⑤役員の交代について
⑥各支部・青年部会報告について

■総務委員会

○第11回総務委員会

日時：平成28年10月17日 12:30～14:30 於：鉄鋼会館
内容：①平成28年度の上期事業報告及び決算について
②正会員費の見直しについて
③賛助会員の会費及び位置づけの見直し等について
④会員名簿の作成及びホームページの刷新について
⑤情報提供その他

■人材育成委員会

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○3級組合否判定会議

日時：平成28年7月20日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：①特殊鋼販売技士3級検定試験の合否判定について
②講師講評
③検定試験委員長総評
④人材育成委員長コメント
⑤新専務理事の感想

○第5回教材レビューワーキンググループ

日時：平成28年7月28日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：①第4回教材レビュー WGの議事録報告について
②平成28年度人材育成事業日程及び支部別年間予定表について
③第10回人材育成委員会議事録報告について
④特殊鋼販売技士2級指導要領データのメンテ作業確認について
⑤特殊鋼販売技士入門編資料データのメンテ作業について

○2級講師事前打合せ

日時：平成28年8月19日 15:00～17:00 於：大阪・鉄鋼会館
内容：①平成28年度人材育成事業年間予定等について
②平成28年度2級研修講座の講師事前打合せ
③その他

○2級問題選定会議

日時：平成28年9月13日 15:00～16:30 於：安保ホール
内容：①2級研修講座の検定試験問題について
②特殊鋼販売技士2級スケジュールについて
③その他

○2級合否判定会議

日時：平成28年11月8日 15:00～16:30 於：鉄鋼会館
内容：①特殊鋼販売技士2級検定試験の合否判定について
②講師講評について
③検定試験委員長総評について
④その他

○第11回人材育成委員会

日時：平成28年11月10日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：①前回の人材育成委員会の議事録報告について
②平成28年度販売技士・加工技士研修講座実施状況報告について
③教材レビュー WG活動報告について
④平成29年度以降の「工場見学付新入社員研修講座」の開催について
⑤平成29年度事業計画案及び予算案の考え方について
⑥特殊鋼販売技士制度の課題などについて
⑦次回開催日程について

■調査研究委員会

○第14回調査研究委員会

日時：平成28年9月28日 14:30～16:30 於：安保ホール
内容：①第78回(4-6月)景況アンケート調査報告
②第79回(7-9月)景況アンケートの設問について
③統計調査のメール配信化について
④景況アンケートのメール配信化について
⑤経済産業省のアンケート要請について
⑥次回委員会日程について

■内外交流委員会

○イタリア視察研修

日時：平成28年9月17日～24日 於：イタリア
内容：①Pagani Automobili視察
②MA Chivasso Plant視察
③AMCLN Caselette Plant視察
④ローマ、ベネチア、ミラノなど市内視察

■経営効率化委員会

○第8回経営効率化委員会

日時：平成28年8月29日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：①前回の経営効率化委員会議事録報告について
②各支部の各種研修事業や講演会の実施状況について
③全国イベント「第1回全特協全国ボウリング大会」の開催要項について
④次回委員会について

○第1回全特協全国ボウリング大会

日時：平成28年10月15日 11:40～14:50
場所：品川プリンスホテルボウリングセンター及び和食「ななかまど」
内容：優勝チーム 清水特殊鋼(株) 1,140ピン
準優勝チーム 三和特殊鋼(株) 1,134ピン
第3位チーム 伊藤忠丸紅特殊鋼(株) 1,038ピン

■広報委員会

○書面審議

日時：平成28年10月5日
内容：「来年上映公開(2017年5月封切予定)される『たたら侍』の映画のエンドロールに、当協会の名称及び正会員の会社名を載せる事業」について

○第8回広報委員会

日時：平成28年11月17日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：①映画「たたら侍」の協賛について
②広報誌「すてぃーる60号」の記事校正確認等について
③広報誌「すてぃーる61号」の記事内容等について
④平成29年度事業計画案及び予算案の考え方について

事務局だより

1 平成29年「新年賀詞交歓会」開催スケジュールについて

来年の賀詞交歓会は本部及び各支部において以下の内容にて開催される予定ですので是非ご出席ください。

本支部	開催日程	会場
本部及び東京支部	平成29年1月17日(火)	グランドヒル市ヶ谷
大阪支部	平成29年1月5日(木)	リーガロイヤルホテル
名古屋支部	平成29年1月6日(金)	名古屋観光ホテル
東北支部	平成29年1月19日(木)	仙台国際ホテル
北関東支部	平成29年2月19日(日)	伊香保温泉ホテル木暮
静岡支部	平成29年2月中旬	静岡グランドホテル中島屋(予定)
中国支部	平成29年1月下旬	福山ニューキャッスルホテル(予定)
九州支部	平成29年1月6日(金)	ホテルオークラ福岡

詳細につきましては各支部事務局にお問合せ願います。

2 特殊鋼販売技士「1級研修講座」の開講について

平成28年度は、本文に掲載していますように「特殊鋼販売技士3級及び2級の研修講座」を開講し、検定試験の結果3級317名、2級155名の資格認定者が新たに誕生しております。

また、平成29年1月下旬～3月にかけて隔年開催の「1級研修講座」を各支部にて開講する予定です。

研修内容は「特殊鋼の特性と事故例」で、鋼種別のグループにて14時間の研修講座を習得した後、3月23日(木)全国一斉に検定試験を実施します。受講申し込み時にAグループ：構造用鋼・ばね鋼、Bグループ：工具鋼・軸受鋼、Cグループ：ステンレス鋼・耐熱鋼の何れかのグループを選択していただき、鋼種別グループでの資格認定制度となっています。受講資格は、昨年度以前に「2級研修講座」を受講し「2級資格認定」を有する者となっています。

現在、東京・大阪・名古屋・北関東・静岡の各支部事務局より開講のご案内をしておりますので、受講を希望される方は開講予定の各支部事務局へお申込みください。

3 映画「たたら侍」の協賛について

EXILE HIRO初プロデュース、錦織良成監督の最新作「たたら侍」が第40回Montriオル世界映画祭、＜ワールド・コンペティション部門＞にて、最優秀芸術賞を受賞しました。

「たたら侍」は平成29年5月下旬に上映が予定されており、当協会が協賛として参画し、同映画のエンドロールに当協会の名称及び広告を申し込まれた正会員の会社名を載せて広く世の中に周知する事業を行うこととなりました。

【あらすじ】

国、文化、技術、日本のすべての発祥の地＜出雲＞を舞台に侍を目指す一人の青年の葛藤や成長を通じて、極めることの難しさ・大切さ”武士道精神”という日本人にとって普遍的テーマを描いた、本格的時代劇映画。

【キャスト】

青柳翔 小林直己 AKIRA 田畑智子 宮崎美子 中村嘉律雄 佐野史郎 山本圭 笹野高史 奈良岡朋子 津川雅彦 他

【試写会】

現在各地区にて試写会を検討しています。詳細が決まり次第ご案内いたします。



編集後記

今年、四月熊本で震災がありました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

平成29年が何事もなく平和な年であることを願っております。

「すてい～る 60号」が皆様に届くころには、師走の大変お忙しいじきだと思えます。

健康第一で乗り切りましょう。

今号は、まず三上元会長叙勲受賞おめでとうございます。

全特協としても大変誇らしく思います。

あと、各地区の賛助会委員長との交流会の様子を主体に

イタリア研修旅行の様、会員の海外展開事例も継続して掲載しております。是非御拝読ください。

今年の特殊鋼業界は曇り時々雨だったのではないのでしょうか。来年はトランプ氏がアメリカ大統領に就任します。小池さんも東京でがんばっておられます。

きたるべき好景気に皆様力をためておきましょう。

寒さが厳しくなります。くれぐれもお身体御自愛ください。

皆様にとって来年が良い年であることをお祈りしています。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／久木田 至